

副議長

おおむかい まさよし
大向 正義



新年明けましておめでとうございます。新たな年が市民の皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症により皆様には、市民生活や経済活動に大きな影響が生じました。自由民主党市議団は、4月30日に「新型コロナウイルス感染症対策についての要望書」を、8月24日に「ウィズコロナ・アフターコロナ対策についての要望書」を、10月29日に「令和3年度予算要望書」を提出しました。

まだまだコロナは終焉の兆しも見せず、首都圏においては「緊急事態宣言」が発令されました。今後も感染症対策と社会経済活動の両面にしっかりと取り組んでいきます。

政府は12月17日、公立小中学校の少人数学級化に関し、小学校で一学級当たりの上限人数を、令和3年度から5年かけて35人学級にすると決定しました。蒲郡市は現在小中学校ですでに35人学級を実施しています。だからこの際、小学校を一年ごとに30人学級にしてはどうか。財政的な問題は全くありません。むしろおつりがきます。また、保育園・小中学校の給食費無償化も検討してはどうか。

今年、このようなコロナ禍の中、「第五次蒲郡市総合計画」「小中学校適正化方針」「公民館グランドデザイン」「蒲郡市保育園グランドデザイン」「東港地区まちづくりビジョン」「公共施設マネジメント」等の策定が検討されています。蒲郡市の将来を決める重要な案件ばかりですので、是々非々で審議して行きます。市民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

東三河広域連合議会
みらい広域委員会委員長

よびた たかひろ
喚田 孝博



市民の皆様には、令和3年の新春を清々しくお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年はまさにコロナ禍によりこれまでの社会生活が一変するものとなりました。一方でリモートやオンラインといった非接触型の対応やデジタル庁に象徴されるような社会のデジタル化が各分野で加速度的に進展しようとしています。

今後デジタルインベーションが、生産性の向上、作業の効率化等相まって、社会の各層各分野で大きな変化をもたらせる原動力になっていくことは間違いないことでしょう。

現在市では、今後10年のまちづくりの最上位計画としての「第5次蒲郡市総合計画」を策定中ですが、他にも「地域強靱化計画」「公共交通計画」「地域福祉計画」等々の策定や「小中学校規模適正化」「保育園」「公民館」の在り方についても協議されています。中でも昨年末に初会合が開かれた「東港地区まちづくりビジョン策定委員会」の議論には関心をもってまいります。

今後のまちづくりには、本格的な少子高齢化、人口減少、生産年齢人口減少を踏まえた戦略的な取り組みが必要となってきます。

限られた人材と財源の中で、多様なニーズに応じていくことは簡単ではありませんが、市民の皆様が求められている「今」と「これから」をしっかりと見据え、まずは「安全・安心」なまちづくりを基に「豊かさ」を互いに享受し、未来に残していけるようなまちづくりに努めてまいりたいと存じます。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

幹事長

あおやま よしあき
青山 義明



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましてはコロナ禍ではございますが、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に対して議会運営委員長として3月議会の一般質問停止等、市職員がコロナ対応に専念できるよう議会運営を司ってまいりました。今年、コロナウイルス対応ワクチンの接種が始まります。一刻も早い通常の生活に戻るよう祈るばかりでございます。今年度も市民の皆様のご幸せを第一にしっかりと議会運営に取り組んでまいります。

さて、私の昨年12月議会における一般質問の内容につきましては、1. 落合川の河川改修工事・豪雨対策について、2. 鳥獣被害対策の防護柵(ワイヤーメッシュ)設置について行いました。1. につきましては、順次護岸の改修工事・浚渫工事と県の予算が付き、事業を行ってまいります。また、河口の樋門につきましては、豪雨時の水位上昇を防ぐために撤去の予定と回答を頂きました。2. については、来年度豊岡の約1.8kmの設置が完了すると市内全長33kmの防護柵が完了します。最近の被害傾向として防護柵のお陰でイノシシによる被害が減っており、その反面ハウスでのハクビシンの被害が増えているようです。市としてハクビシンの対応にも力を注いで行きます。以上が一般質問の内容です。今年もしっかりと市民の皆様のため頑張ってまいります。

経済委員会 副委員長

すずき まさひろ
鈴木 将浩



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

昨年は様々な場面で新型コロナウイルスの影響を受けた1年でした。今年は感染拡大防止を徹底しつつ、いかに経済活動・まちづくり活動を進めていくかが大きな課題になるかと思えます。今まではどちらかといえば支援金・補助金など対処療法が中心でしたが、先を見越した対策となる施策をより進める必要があります。感染拡大時に後手に回るのはなく、ウィズコロナでも十分な経済活動・まちづくり活動が行える環境づくりのお手伝いが出来ればと考えています。

また、国内ではSDGs、デジタル化、カーボンニュートラルなどがニュースでもよく取り上げられるようになりました。遠い世界の話ではなく、蒲郡市としても真剣に取り組むべき課題になってきています。そのような中で、蒲郡市では2030年までの10年間の最上位計画となる「第五次蒲郡市総合計画」や、小中学校の規模適正化、シティーセールス、東港開発など、様々な計画策定が進められています。身近な話題はもちろんのこと、国内の動きや未来のことに目を向けながら、蒲郡が地域間競争で後れを取らないよう、本年も引き続き蒲郡市と市民の皆様のために取り組んで参ります。

政調会長

たけうち しげやす
竹内 滋泰



我が国は、度重なる大災害による甚大な被害により長期間にわたる復旧、復興の繰り返しを続けてきました。そして、災害から得られた教訓を踏まえてそのたびに対策が強化されてきました。昭和34年の伊勢湾台風では、「災害対策基本法」が制定され、平成7年の阪神淡路大震災では、防災・減災、更には、「自助」、「共助」の大切さが認識されました。

そして、平成23年の東日本大震災を契機にいかなる災害が発生しよう、人命の保護が最大限図られることが最大の目標である、「強しなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を制定いたしました。蒲郡市も令和3年6月を目標に、「蒲郡市地域強靱化計画」を策定中との事です。

本市の防災体制を考えるうえで、私なりに考えてみました。
1、「緊急輸送路の確保」、2、「災害が発生した際の市民病院の受入体制の充実」、
3、「防災の拠点づくり」の3点が、重要な整備事項だと考え、12月議会において質問させて頂きました。特に三番目の「災害の拠点づくり」の必要性についての市側の答弁を披瀝いたします。

答)地域強靱化計画を策定する過程においては、ほかにも課題が浮かび上がってくることも想定されます。それらの課題も含めて、拠点の必要性について考えていきたいと思います。

いかなる災害が起きようとも人命の保護が最大限図られる、「防災活動の拠点づくり」が急務であることを訴えさせて頂きました。最後に、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈っています。

副幹事長

おおすか はやし
大須賀 林



昨年はコロナに明けコロナにくれた1年でありましたが、今年はコロナが収束することを心より願っております。コロナ禍で人が集まり、市政報告会を行うということができない中、本紙面によりご挨拶と議会一般質問の報告をさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

問 ウィズコロナにおける高齢者対策について、コロナ禍であるが、老人福祉センター寿楽荘が閉鎖となり困っているお年寄りがいる。高齢者に寄り添い、入浴だけでも再会できないか。
答 寿楽荘の閉鎖は、市の新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づく対応であり、感染防止やリスクへの対応の点からも警戒レベル4で閉鎖することは考えていない。今後警戒レベルが3になれば、入浴利用が可能となる。

【音楽のまち蒲郡の発展について】
問 市役所で昼休みにミニ演奏会を定期的に開催することで、音楽活動をしている人を応援できないか。
答 毎年市民会館指定管理者の自主事業として、市役所でのミニ演奏会を実施している。今後も指定管理者と協力し、演奏の機会を創出していきたい。

このコロナ禍が収まるまでは、今まで普通であった旅行やお祭り、食事会など社会経済活動といわれるものが制約を受けることとなりますが、地域の協力・みんなの力でがんばって乗り切りましょう。

11月20日 デマンド型交通勉強会



デマンド型交通(事前予約に応じて運行経路・スケジュールを調整する公共交通)の「チョイソコ」というサービスに関する勉強会を行いました。近隣の岡崎市・幸田町でも昨年10月から運行が始まり、現在注目されている公共交通です。

12月9日 幸田町との勉強会



幸田町議会の幸風会、蒲郡市議会の自民党市議団、そして両議会の議長を含めた20名で勉強会を行いました。幸田町スーパーシティ構想の提案に向けての取り組みについて、幸田町スタートアップ研究所長の近藤学さんに講演いただきました。

12月17日 地域猫活動勉強会



蒲郡市でも野良猫が問題となっている地域もあり、自由民主党蒲郡市議団・公明党蒲郡市議団の10名で、地域猫活動に関する勉強会を開催しました。大府市の地域猫アドバイザー 久野幸裕さんをお招きして、地域猫活動の大府市の事例をご説明いただきました。